

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152

メール info@takaoka-hongwanji.jp

◇各種団体役員改選

新年度に入り、任期満了を迎えた各種団体で、役員改選が行われました。新たな役員は次の通り。
(敬称略)

○布教団

副団長 山名一徳 (伏木組龍善寺)

副団長・青年布教使代表

監事

青木哲隆 (新湊組覚円寺)
増山孝琢 (新湊組妙蓮寺)
織田隆夫 (五位組長光寺)

○高岡教区仏教婦人会連盟

委員長

副委員長

書記

會計

監事

○教学研究室

室長

副室長

事務局

事務局

※詳しくは、今後発行予定の実践運動推進計画書を
ご覧ください。

大場洋子 (関野組仏子仏婦)
笹井眞祐美 (水波組瑛能仏婦)
奥村邦子 (砺波組照伝寺仏婦)
嶋田いづみ (氷見西組氷見西組仏婦)
麻生尚子 (伏木組伏木仏婦)
竹林順子 (糸岡組若林仏婦)
河原広美 (若神組法谷仏婦)
篠原淳子 (射水組水戸田仏婦)
杉谷慶子 (新湊組新湊仏婦)
鏡内幸子 (氷見東組氷見東組仏婦)

津山玄亮 (糸岡組願称寺)
栗山宣雄 (川上組本福寺)
寺西良夫 (氷見東組明厳寺)
青木哲隆 (新湊組覚円寺)

宗会議員選挙人名簿の縦覧について

中央選挙管理委員会において作製されました本年の宗会議員選挙人名簿(令和4年4月1日現在調査のもの)を5月2日付で各組組長事務所に送付いたしております。

つきましては、下記事項についてご留意いただきますようご連絡いたします。

記

- 選挙人名簿の縦覧期間は、令和4年5月15日より5月末日までの期間です。
- 縦覧者(選挙人)は名簿の選挙人押印欄に押印しないこと。
※押印した選挙人名簿は無効となり、選挙に使用できなくなります。
- 選挙人本人又は縦覧者が、選挙人名簿に脱落又は誤記があると認めるときは、訂正の申し立てをすることができます。

※特に令和4年4月1日時点で既に死亡されている方が記載されている場合は削除の必要がありますのでご注意ください。

※改姓・改名、所属寺変更、転入、転出については、令和4年4月1日時点でまだ手続きが完了していないものは、訂正の対象とはなりません。また、令和4年4月1日の時点で成人に達していない方も名簿に登載しておりません。

上記のことにご留意いただき、名簿に脱落又は誤記があると認めるときは、縦覧期間内(5月15日から5月末日まで)に各組組長事務所までご連絡下さい。

以上

◆高岡教区仏教婦人会連盟総会開催

この度、教区仏教婦人会連盟委員長を拝命いたしました、関野組専福寺仏子仏婦の大場洋子と申します。どうぞよろしくお願い致します。

会員の高齢化や単位会の減少が課題の中、仏教婦人会活動も新たな工夫が求められている時期ととらえ、話し合い、知恵を出し合いできることから行動したいと思えます。

去る、四月二十八日(木)、西本願寺高岡会館礼拝堂において仏教婦人会員七十九名が参加し教区仏教婦人会連盟総会が開催されましたこと報告いたします。

総会では活動、決算について報告があり、また新年度の活動計画、予算について説明が行われ、出席者の承認を得て、恙なく終えました。今年度は、役員改選の年にあたり元井和代委員長から私大場が委員長を引き継ぎ、新役員についても承認を得ました。

また、今年度のダーナ特別会計よりウクライナへの人道支援として募金を送金することが承認されました。

続いて、栗山宜雄師(川上組本福寺住職)による『本当に大切なことは目に見えない』大変化の時代を生きる『』と題した記念講演がありました。先生は、源信和尚とお母さんから「時間の概念」と「信の力」という目に見えないものを挙げられ、大切にしたいこととお話しされました。

この法話は、ビデオ撮影され、後日会員限定でURLやQRコードで拝聴が可能です。現代社会に対応した画期的な第一歩になることは、間



違いのないでしょう。

教区仏教婦人会に先立ち四月二十五日(月) 仏教婦人会総連盟総会が京都本山と三十一教区をオンラインで開催され 高岡教区は西本願寺高岡会館礼拝堂に、十三名が集いました。

開会式には、大谷流豆美総連盟総裁様ご臨席され、ウクライナの人々が苦しみの中にあることに思いを馳せられ 親鸞聖人が願われた「世の中安穏なれ」の平和な日々が一日でも早く訪れますようにとお言葉を賜りました。総連盟の活動方針・事業計画・各種予算が報告され、明年五月十一、十二日に開催予定の世界仏教婦人会大会の日程については詳しく説明されました。

西原佑治先生(仏教婦人会総連盟講師)による法話「平和について」があり、「めぐみ」リニューアルのピエールと購読推進の寸劇が披露され、オンライン総会は終了しました。

高岡教区仏教婦人会連盟 委員長 大場洋子

得度習礼講習会・考査のお知らせ

本年度高岡教区における得度講習会・考査を下記のとおり開催いたします。「得度願」提出予定の方には講習会・考査受講が、原則、必須となっておりますので、ご準備よろしくお願ひいたします。

尚、申込書類は教務所にございます。
40日前(7月13日)までに申し込みが必要です。

記

1. 期日 8月22日(月)～24日(水)
※(講習会2日・考査1日)
 2. 会場 福光教堂
(南砺市福光974-2)
 3. 定員 8名(定員に達し次第締切)
- 以上

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

北陸同朋推進委員会総会・研修会報告

四月二十一日（木）、西本願寺高岡会館にて、二〇二二年度の北陸同朋推進協議会の総会ならびに研修会が開催された。総会では同和教育振興会と近畿同朋運動推進協議会より来賓をお迎えし、二〇二二年度の事業報告と決算、二〇二二年度の事業計画と予算、役員改選についてそれぞれ審議承認された。結成一〇周年を迎える二〇二二年度は林史樹さん（伏木組要願寺）が代表となり高岡教区が事務局となる。

総会の後には各教区からそれぞれの取り組みについて報告があり、続いて研修会として部落解放同盟北陸事務所の事務局長、吉田樹さんを講師に「北陸四教区の現状と課題」をテーマで講義をいただいた。過去帳問題で何が問われているのかを中心に約六〇分の講義をいただいた。

始めに昨年七月下旬に行われた北陸事務所と四教区での意見交換会からまとめられた本部への報告内容について①各教区の取り組みに温度差があること、またその背後には本願寺からの人員と予算が削減されている事情があること。②各教区での研修実施における課題について。③研修が届いてるのは多くとも僧侶の1/4程度。次世代の人材育成については同盟・教団ともに課題であり意見交換が必要、といった課題と意見が報告された。

その上で講義の前に各教区からの取り組み報告において水平社宣言一〇〇年という言葉が出てこない。東西本願寺教団への期待と願いには一〇〇年の歴史があることは忘れないでほしいと述べられた。

今回の過去帳開示問題については「対応にはスピード感が必要。何が起ったのか、どういう人が関わったのか、どのような会話が交わされたのか」という事実関係の把握から始まるが、時間が経つと記憶があいまいになる。また自己正当化の心理が働き、あったことをないことにしたり矮小化したりす

る傾向がある。今回は新聞記事が問題となったが、宗報一月号で公的に報じられるまで八カ月もかかった対応はあまりにも遅い」と対応の遅さを指摘された。

また、内容についても、宗報一月号に掲載された『過去帳又はこれに類する帳簿の取扱基準』の徹底についてのお願い」の記事中には「現在、富山教区実践運動委員会においては、宗派社会部人権担当及び部落解放同盟北陸事務所と連携し対応を進め・・・」とあるが、部落解放同盟北陸事務所として連携する事実は無いらしい、その立場でもない、事実関係の認識に混乱や誤りがあるとされた。その上で「中外日報（7/14）の記事では『特定の個人や団体を直接貶める意図は認められないことから、差別性はないと判断した』と報じられたことに驚いた。主語がはっきりせずどこがそう判断したのか定かではないが、意図があるかどうかは、差別の有無とは無関係である」「また文化時報では『掲載写真に個人情報につながる内容が含まれておらず、差別事件に該当しないと判断した』（7/19）とあるが、このような記事を修正しようという動きがないことも不思議である」

「差別事件に対して、差別事件かどうかを判断できる体制は整備できているのか。すぐに調査委員会や対策委員会を設置する仕組みはできているのか。できているとすればそれは機能するものなのか」と指摘され、組織としての課題と取り組みの姿勢があらためて問われた。

過去帳開示問題という、取り扱い基準に違反したことが問題と捉えがちだが、情報開示とは情報を伝えることであり見せるかどうかの問題ではない。過去帳の取り扱いも重要であるが、身元調査に協力することが差別を助長することをしっかりと意識しなければ、親切心から調査協力をする事例が繰り返されるのではないだろうか。真宗の教えから身元調査やルーツ探しが間違っていることを示し、自分を含む全ての人を守る運動の推進に今後も取り組んでいきたいと感じた。

【川上組主幹 立川 証】

◇これからの日程（5/14～6/28）◇

5月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座	
16	聖典セミナー（第1回）	ヤスクニ専門委員会
17	教学財団監査会	
19		仏婦執行部会 布教団正副団長会議
23	教区委員研修会	
24	仏婦第2回常任委員会	
26		いろは塾
28		若女総会・研修会
30		布教団役員会
6月		
1	公聴会（第1回 web）	
2	財団理事会	
3	教区会計監査	
6		北同推役員会 矯正教化総会・研修会 （web）
7		非戦・平和学習会
8		講社総会
13	聖典セミナー（第2回）	同朋運動企画専門委員会
14	常例法座 減免審査会・常備会	
18		仏壯連区大会（岐阜）
22	財団評議員会	
23	公聴会（第2回 web）	
28		いろは塾

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前5:35～5:45

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎5/28（土）：岡崎 秀麿氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「『仏事をする理由』」

◎6/4（土）：富島 信海氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「『葬儀ってなに？』」

◎6/11（土）：富島 信海氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「『どうしてお葬式をするの？ ①』」

□6/12（日）：鷲森 昭見氏

（高岡教区氷見西組浄善寺）

◎6/18（土）：岡崎 秀麿氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「『どうしてお葬式をするの？ ②』」

◎6/25（土）：岡崎 秀麿氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「『ねえ、お坊さん教えてよ』に込めたおもい」

□6/26（日）：福田 慶隆氏

（高岡教区五位組廣濟寺）

【西本願寺高岡会館6月の常例法座】

ご講師：立川 証氏

（高岡教区川上組浄教寺）

ご講題：『信じるということ』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。